



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月5日

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL <http://www.arkcore.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03-5837-3611
 四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	2,303	19.2	139	3.0	138	7.2	135	6.0
24年2月期第2四半期	1,932	32.0	143	300.4	149	387.2	144	110.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年2月期第2四半期	6,874.40		—					
24年2月期第2四半期	7,316.00		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	1,160	563	48.6
24年2月期	1,129	427	37.9

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 563百万円 24年2月期 427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00			
25年2月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,560	13.3	140	21.5	142	25.1	138	24.3	7,028.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期2Q	19,700株	24年2月期	19,700株
25年2月期2Q	0株	24年2月期	0株
25年2月期2Q	19,700株	24年2月期2Q	19,700株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年10月12日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に景気回復の兆しが見え始め、企業収益はゆるやかに改善しており、雇用情勢も完全失業者数が減少するなど、今後は持ち直していくことが見込まれております。しかしながら、欧州政府債務危機等による金融資本市場の変動や海外景気の下振れするリスク等により、わが国経済にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

当社では、中古バイク事業においては、これまでと同様にSEO(検索エンジン最適化)、リスティング広告等インターネットにおける各種プロモーション活動に取り組んでまいりました。

また、ゲオショップ事業においては、平成24年6月よりゲオショップFC店舗が2店舗増加する予定でしたが、当該店舗の賃貸人より、現在の賃借人から当社への転貸借契約の承認が得られなかったため、平成24年8月に当該2店舗の譲受けを中止することを決定いたしました。その結果、同店舗は第1四半期より引き続き6店舗となっております。

当第2四半期累計期間においては、売上高2,303百万円(前年同期比19.2%増)、営業利益139百万円(前年同期比3.0%減)、経常利益138百万円(前年同期比7.2%減)、四半期純利益135百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

事業別のセグメントの業績は次のとおりであります。

<中古バイク事業>

中古バイク事業では、買取台数は6,437台(前年同期比5.6%増)となりました。第1四半期としては過去最高の台数でしたが、第2四半期は前年同期比13.0%減となっております。

第2四半期累計期間での買取台数が増加したことに伴い、業者間オークションへの出品台数が増加し、販売台数は6,885台(前年同期比10.7%増)となりました。販売台数も第1四半期としては過去最高の台数でしたが、第2四半期は前年同期比2.3%減となっております。

その結果、売上高は1,420百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は160百万円(前年同期比38.0%増)となりました。

<ゲオショップ事業>

ゲオショップ事業では、ゲオFC店舗が前年同期と比較して2店舗増加したため、売上高は増加しましたが、1店舗当たりの売上高は前年同期比5%程度の減少となりました。

売上種類別にみますと、各種メディアのレンタル売上及び中古のゲーム機器、ゲームソフトのリサイクル売上といった粗利率の高い商品等の売上高が減少していることが影響し、1店舗当たりの売上総利益は前年同期比13%程度の減少となりました。

その結果、売上高は883百万円(前年同期比42.6%増)、営業損失は14百万円(前年同期は営業利益26百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末において総資産は**1,160**百万円となり、前事業年度末と比較して**30**百万円増加しております。現金及び預金は**160**百万円増加する一方、商品は**59**百万円、流動資産その他は**44**百万円、のれんは**18**百万円減少しております。

(負債)

当第2四半期会計期間末において負債は**596**百万円となり、前事業年度末と比較して**104**百万円減少しております。長期未払金**45**百万円、未払金**23**百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金**32**百万円、社債**10**百万円、それぞれ減少しております。

(純資産)

当第2四半期会計期間末において純資産は**563**百万円となり、前事業年度末と比較して**135**百万円増加しております。これは、四半期純利益**135**百万円を計上したためであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は**589**百万円となり、前事業年度末から**180**百万円増加となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は**273**百万円(前年同期は同**199**百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益**138**百万円の計上、棚卸資産の減少による増加額**58**百万円、その他の流動資産の減少による増加額**55**百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は**50**百万円(前年同期は同**31**百万円)となりました。これは主に、定期預金の払戻しによる収入**20**百万円及び事業譲受による支出**69**百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は**42**百万円(前年同期は同**38**百万円)となりました。金融機関から新たに長期借入を実行したことによる収入**100**百万円があり、その一方で、長期借入金の返済による支出**132**百万円及び社債の償還による支出**10**百万円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年4月13日に公表した業績予想は、ゲオショップ事業の店舗数が平成24年6月に6店舗から8店舗に増加することを前提としておりましたが、平成24年8月31日に公表しましたように、当事業年度におけるゲオショップ事業は、従来通り6店舗での運営を継続していくことになります。

このような状況下において、第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は、中古バイク事業が好調に推移したこともあり、通期での予想数値とほぼ同程度の実績値となっております。

しかしながら、第3四半期以降、ゲオショップ事業の店舗数が増加しないことによる影響を同事業の既存店舗並びに中古バイク事業で埋め合わせが可能であるかどうか、今後の業績推移の状況を慎重に見極める必要があると考えておりますので、通期の業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	429,117	589,833
売掛金	28,200	28,697
商品	340,061	280,786
その他	85,036	40,823
流動資産合計	882,416	940,140
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	105,596	106,408
減価償却累計額	46,348	52,200
建物附属設備(純額)	59,247	54,208
その他	33,447	33,517
減価償却累計額	20,387	21,423
その他(純額)	13,059	12,094
有形固定資産合計	72,307	66,302
無形固定資産		
のれん	152,668	134,607
その他	2,855	1,794
無形固定資産合計	155,524	136,401
投資その他の資産	19,521	17,466
固定資産合計	247,352	220,170
資産合計	1,129,768	1,160,310
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,228	68,890
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	64,990	39,036
未払金	177,908	154,657
未払法人税等	7,222	16,814
賞与引当金	—	11,130
その他	78,228	78,463
流動負債合計	432,578	388,992
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	135,949	129,747
長期未払金	83,324	38,229
固定負債合計	269,273	207,976
負債合計	701,851	596,968

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	260,535	260,535
利益剰余金	65,443	69,982
株主資本合計	427,916	563,342
純資産合計	427,916	563,342
負債純資産合計	1,129,768	1,160,310

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	1,932,718	2,303,845
売上原価	1,144,842	1,375,991
売上総利益	787,875	927,854
販売費及び一般管理費	644,585	788,835
営業利益	143,290	139,018
営業外収益		
受取手数料	1,144	1,932
受取保険金	2,457	140
協賛金収入	2,684	—
助成金収入	1,000	—
雑収入	1,773	2,891
その他	45	53
営業外収益合計	9,105	5,018
営業外費用		
支払利息	2,136	2,897
社債利息	757	566
訴訟関連費用	—	2,000
その他	205	55
営業外費用合計	3,099	5,519
経常利益	149,296	138,516
特別損失		
災害による損失	428	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,003	—
特別損失合計	3,432	—
税引前四半期純利益	145,863	138,516
法人税、住民税及び事業税	1,738	13,478
法人税等調整額	—	10,387
法人税等合計	1,738	3,091
四半期純利益	144,125	135,425

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	145,863	138,516
減価償却費	10,272	8,348
のれん償却額	6,259	18,061
賞与引当金の増減額(は減少)	—	11,130
支払利息	2,136	2,897
社債利息	757	566
災害損失	428	—
訴訟関連損失	—	2,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,003	—
売上債権の増減額(は増加)	19,231	496
たな卸資産の増減額(は増加)	30,358	58,135
仕入債務の増減額(は減少)	7,750	15,337
その他の流動資産の増減額(は増加)	4,515	55,357
その他の流動負債の増減額(は減少)	26,904	734
その他	1,466	2,078
小計	204,984	281,991
利息の支払額	2,867	3,358
法人税等の支払額	2,888	3,593
訴訟関連損失の支払額	—	2,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,228	273,039
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20,000
有形固定資産の取得による支出	1,233	886
差入保証金の差入による支出	600	75
差入保証金の回収による収入	62	—
事業譲受による支出	29,915	69,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,686	50,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	28,290	132,156
社債の償還による支出	10,000	10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,290	42,156
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	129,252	180,715
現金及び現金同等物の期首残高	317,723	409,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	446,975	589,833

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	中古バイク 事業	ゲオショップ 事業	計	
売上高	1,312,844	619,874	1,932,718	1,932,718
セグメント利益	116,392	26,897	143,290	143,290

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	中古バイク 事業	ゲオショップ 事業	計		
売上高	1,420,132	883,713	2,303,845		2,303,845
セグメント利益	160,593	14,696	145,896	6,878	139,018

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。